

年頭のごあいさつ

ヒヨコ登山会会員の皆様、
ご家族の皆様、
新年明けまして
おめでとうございます。

令和三年 丑年 元旦



いざ コロナを撃退! (松尾山/酒井城跡にて)
会 長 吉野 宏

本年は、年頭ごあいさつの冒頭に「新年をお健やかに迎えられたことと存じます」・・とは到底書きづらく、かといって「コロナウィルスという難敵に、大きな不安と、強い苛立ちを抱えられたままの年明けとなられたことでしょう!」・・では「明るく夢多き1年でいたい!」との皆様の願いをかき消すことになるのでは?と思い、悩んだ末、書き控えさせて頂きました。

一昨年の11月、中国武漢に端を発したこの厄介者は、いつのまにか多くの仲間を世界の国々へ侵入させ、第1波、第2波、第3波と、引くことを忘れた津波のごとく、しかも益々大きな波となって押し寄せており、12月8日時点における世界の感染者総数は6,731万人に達し、155万人もの尊い命が奪われています。日本はというと、同日では16.5万人が感染し、2,400人の方が亡くなりました。兵庫県内は7日連続で3桁の数字の感染者を出し、合計6,547人、死者99人と報道されていました。

本来なら年末のテレビは、56年ぶりに行われるはずであった「東京オリンピック」の余韻に浸った番組が目白押しで放映されていたでしようが、顔面マスクや、リモートワークでのやり取り画面の味気ないものばかりで幕を閉じた1年でした・・。

はたしてコロナは終息するのだろうか?・・と、不安ばかり募らせていては、明日への希望は湧きません。コロナ禍の禍という言葉を見てもお分かりの通り、((人為的) わざわい) という意味の字であり、天災を意味する災(わざわい)ではありません。つまり、人間の頭脳で解決し得るものだという事であり、必ず収束され、終息に至ると確信します。

昨年の3月早々に行うべしであった、「令和2年度定時総会」の中止を皮切りに、延期や中止をせざるを得ない行事が数多くあり、その都度に於いて各支部長、各関係者宛に指示通達を行ったため、皆様、さぞウンザリされたことだったでしようが、その甲斐あって当会からの感染者は誰一人出なかったことは大変喜ばしい限りでした。

今冬は厳しい寒さの続く日が多いとの予報であり、コロナ禍第3波は3月終わりまで続くであろうと予想されています。会員の皆様、どうか**感染リスクが高まる場面は出来る限り避け、密にならない行動と、なによりも感染防止策の基本である「手洗い・うがい・マスク着用」の周知徹底を図っていただきます様お願い致します。**

.....

さて、コロナで明け、コロナで閉じた、まったく明るいニュースの無かった昨年でしたが、師走に入った 12 月 6 日、小惑星探査機「はやぶさ 2」の回収カプセルが地球へ無事帰還！のニュースには、少なからず心があった踊った方も多かったのではないのでしょうか。

「地球の生命の起源を探る」という大きな目的の為に開発されたこの探査機は、6 年前（2014 年）の 12 月 3 日に打ち上げられ、長い旅の末、「小惑星の地下の物質をカプセルに取り込み、持ち帰った！」という夢のある明るいニュースでした。カプセル内の物質には「地球の生命である水や有機物が含まれていること」を願わずにはいられませんね！

そんな明るいニュースで終わり、明けた 2021 年。神戸ヒヨコ登山会は「創立 100 周年」を迎える来年に向け、いよいよカウントダウンに入る年となりました。ニューサークルメンバーを除く大半の会員様が、創立 90 周年（2012 年）を経験されておられ、会の責任者になったばかりの経験の浅い私をバックアップして下さい、終わってみれば素晴らしい式典と祝賀会であった！・・・とお褒めの言葉を頂いたのです。そして、その時に皆さんと共に誓ったのは、「**めざせ 100 年！元気なヒヨコ！**」の合言葉でした。

光陰矢の如しと申しますが、あれから早や 9 年目の年を迎えました。昨年の年初から、ヒヨコ総務委員会にて 100 周年行事に関する具体策に入ったものの、コロナに翻弄され、一進一退の進捗状態ですが、又々皆様のお知恵とご支援ご協力にすぎりながら、100 周年の式典、及び祝賀会を含めたすべての行事を成功させたく願っております故、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

過去に 100 周年を迎えることの出来た、市民登山会は全国的に見ても例がありません！ヒヨコの先輩達が守り育てて来た会を皆さんが引継ぎ、皆さんが育てて来た登山会です。そして、私達ベテラン会員は、ニューサークル会員を含めた新しい会員に次の 100 年を託すべくバトンを渡すのです。皆様、どうかご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

.....

今年も皆さんと共に安全登山を心がけ、笑顔で終われる楽しい登山を致しましょう！

そして、皆さんと共に、来年の 100 周年を元気で迎えましょう！！



杉千年 ヒヨコ萬年！（白髪岳～高仙寺山にて）